

議案第 5 号

権利の放棄について

次のとおり権利を放棄することについて、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 96 条第 1 項第 10 号の規定により議会の議決を求める。

令和 8 年 3 月 3 日提出

阪南市長 上 甲 誠

提案理由

損害賠償請求に係る債権の放棄をするための措置

平成25年度コミュニティ助成事業に関する助成金の不正
受給に係る損害賠償債権に係る権利の放棄について

1 相手方住所 □□□□□□□□□□
氏名 □□ □□

2 債権放棄の概要

阪南市は、令和2年12月定例会において「権利の放棄及び和解について」の議決を経て、松風荘苑元自治会長と示談書を締結した。

元自治会長は損害賠償金12,200,000円及び遅延損害金の支払義務を認め、そのうち6,500,000円の分割払を行い、令和5年7月末までに6,500,000円を完済した場合、残額5,700,000円の支払を免除することとした。一方400,000円以上滞納又は期限までに完済できなかった場合、全額から既払額を控除した金額を直ちに支払うとしたところである。

元自治会長は令和2年12月に500,000円を支払ったものの、その後の分割払がほとんど履行されず、令和7年12月31日時点での既払額は、501,000円にとどまっており、完済期限である令和5年7月末までに6,500,000円の支払がなされなかったため、令和2年第4回定例会議案第67号第4項第4号により、損害賠償金全額から既払額を控除した金額を直ちに支払う義務が発生している。

阪南市は、これまで債務者に対して再三にわたり支払を求めてきたが、債務者は高齢かつ著しい経済的困窮状態にあり、今後も資力の回復が見込めないことから、今後の債権回収は極めて困難である。

また、強制執行等の法的措置を講じても、債務者には差し押さえ可能な資産がなく実効性が見込めないことから、下記の権利を放棄するものである。

3 放棄する債権の内容

(1) 債権の発生原因

平成25年度松風荘苑自治会コミュニティセンター建設に係る
補助金の不正受給による損害賠償請求権

(2) 債権額（令和7年12月31日現在）

ア 元本 金11,699,000円

イ 確定遅延損害金（平成30年5月23日から令和7年12月31日まで） 金4,517,203円

ウ ア・イの合計 金16,216,203円

エ 未確定遅延損害金（令和8年1月1日から債権放棄日まで） 元
本金11,699,000円に対する年5分の割合による金員

オ 既払額 金501,000円